江東区一般廃棄物処理基本計画(素案)の概要

体系図

〈重点施策1〉

食品ロスの削減(食品ロス削減推進計画)

〈重点施策2〉

プラスチックの資源循環

～スローガン～

もったいない、一人ひとりの行動が、地球を守る、未来を変える

〈基本理念〉

持続可能な資源循環型

地域社会の形成

〈基本方針〉

基本方針1
区民・事業者・区の情報共有と連携の強化

基本方針2
リフューズ・リデュース・リユース・リペアの推進

基本方針3
環境負荷低減効果を考慮したリサイクルの推進

基本方針4
安全・安心なごみの適正処理

〈施策の方向性〉

5Rによるごみ減量の取り組みやごみの適正処理についての理解の促進

適切な役割分担の下で連携する関係の構築

リフューズ(断る)・リデュース(発生抑制)の取り組み

リユース(再利用)・リペア(修理)の取り組み

リサイクルの取り組み

家庭ごみの適正排出の推進

事業系ごみの適正処理の推進

効率的で人と環境にやさしい収集運搬

適正な中間処理、最終処分の確保

大規模災害による災害廃棄物の適正処理体制の整備

〈具体的施策〉

区民・事業者への情報発信など

区民・事業者の自主的な取り組みの促進など

区民・事業者による「ごみになるものを断る」「ごみを発生させない」取り組みの促進など

区民・事業者による「ものを繰り返し使う」「ものを修理して使う」取り組みの促進など

区民・事業者によるリサイクルの取り組みの促進など

適正な排出を促進するための取り組み

適正な処理を促進するための指導など

高齢者等への支援など

適正な中間処理と関係者の連携など

災害廃棄物処理計画の策定など

第1部 一般廃棄物処理基本計画策定の背景

第1章 計画の目的・状況の変化等

国・東京都や国際的な動向など、本区を取り巻く状況の変化に対応した計画に改定します。[計画期間] 令和4年度～13年度(10年間)。中間年度に計画を見直します。[進捗管理] PDCAサイクル(事業の点検・評価・見直しを行う仕組み)の手法により、本計画の目標の達成状況を管理し、事業の透明化を図ります。

第2章 江東区とごみの歴史

本区が長年苦しめられたごみ問題や清掃負担の公平、中央防波堤埋立地について記載しています。今後も、ごみの減量とリサイ

クルを推進するよう、他区に対して働きかけていくとともに、23区で連携・協調し、進めていきます。

第3章 清掃リサイクル事業の現状と課題

資源・ごみ量等の推移、ごみ処理・リサイクル事業のコストを分析しています。また、高齢者・外国人を含めた人口増加、ごみの発生抑制など5Rの課題、埋立処分場の延命、まちの美化の推進、安全なごみ・資源の収集・回収などの課題を整理し、第2部の具体的施策へつなげます。

第2部 一般廃棄物処理基本計画

第1章 基本的な考え方

『江東区基本構想』『江東区長期計画』『江東区環境基本計画』に示された方向性を実現するため、基本理念、基本方針、スローガンを上記体系図のように定めます。

また、5Rの推進には区民・事業者の取り組みが不可欠ですので、区民・事業者・区の役割について記載しています。

第2章 ごみ量の推計と目標値

次のようなごみ減量目標値を掲げ、毎年度、進捗状況を管理します。

基本指標 1	区民1人あたり1日の資源・ごみの発生量 (令和2年度：656g/人日→令和13年度：561g/人日)
基本指標 2	区民1人あたり1日の区収集ごみ量 (令和2年度：480g/人日→令和13年度：391g/人日)
基本指標 3	資源化率 (令和2年度：27.2%→令和13年度：30.7%)
基本指標 4	大規模建築物事業者の再利用率 (令和2年度：71.73%→令和13年度：74.70%)

第3章 基本方針に基づく具体的施策

上記体系図のように定めます。「食品ロスの削減」と「プラスチックの資源循環」を重点施策とします。また、新たに「食品ロス削減推進計画」を内包する形で策定します。食品ロスを減らす基本は、まずは食材を「使いきる」ことであり、そして作ったものや買ったものを「食べきる」ことです。このことを、各主体が実施することで食品ロスを減らすことができます。プラスチックごみ削減は、リフューズ、リデュースなどが基本です。

第4章 生活排水処理基本計画

生活から出る排水を適正に処理するための指針を示します。

江東区一般廃棄物処理基本計画(素案)へのご意見をお聞かせください。

意見募集締切:12/28(火)必着

氏名	
住所	
年齢	20代以下 30代 40代 50代 60代 70代以上

※いただいた個人情報は、本パブリックコメント以外の目的には使用しません。